

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 31日

事業所名:JYUxJYUステーション

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			・適切なスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	5	1		・基準より多くなるよう配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	1		・現状はバリアフリー化の必要がないためしていないが、今後必要性が出てきた時のためにバリアフリー化について知識を得ておきたい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2			・目標設定と振り返りは常日頃から意識しているが、PDCAサイクルという観点からの実施はまだ不十分なので、理解・周知を進める
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・保護者向けアンケートを集計し、保護者からの意見をミーティングで共有し、改善に繋げている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			・結果をホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	3		・第三者による外部評価は受けていないので、それについては検討していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		・研修を受けた職員が、他の職員に研修内容を共有するように機会を設けている	・職員の資質の向上などのために今より更に研修の機会を充実させ、研修を受けやすい環境づくりをしていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			・放課後等デイサービス計画はアセスメントをきちんと行い作成しているが、児童発達支援管理責任者だけでなく職員全員にもそのことが伝わるようにしたい
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		5	1	・標準化されたアセスメントツールを使える資格を持つ職員がいない為、子ども達が利用している心療内科などでの実施をしてもらっている	・事業所内でも標準化されたアセスメントツールを使用できるように整備を進める
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			・毎週火曜日に事業所全体のミーティングを開催し、立案などを行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		・上記と同じく火曜日のミーティングにて全体で工夫している	・平日に関しては活動があまり多様ではなくなる傾向にあるため、きちんと話し合い固定化しないよう努力する
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2			・課題は設定しているが、時期に応じたきめ細やかな設定は十分には出来ていないので、きちんと行う
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	4	2		・子どもの状況に応じて適切な組み合わせで計画を作成している		
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・支援開始前に今日の送迎の調整や活動内容の共有は必ず行っている		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・支援終了後には子どもの送り中の様子や今日の活動中の様子などの共有をしている		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・子どもの様子で普段と違うところや気になることがあれば必ず記録を取り、検証・改善に繋げている		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1		・定期的にモニタリングを行い必要に応じて柔軟に対応している		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	1			・ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援しているが、職員への周知が不足しているようなので改善する	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			・児童発達支援管理責任者に加え、子どもと関わりの深い職員も参画させるようにしている		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			・学校・先生とこまめな情報交換を心掛けている	・特別な日課の際の時間割変更などがうまく共有できていない場合があるので、さらに細やかな情報交換を心掛けた	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				6		・現在は対象となる子どもがいないが、医療的ケアが必要な子どもが利用する時に備えシミュレーションを行う
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている				6		・これまで行っていないので、今後は関係各所と情報共有・相互理解に努めると共に、連絡体制の構築を進めたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				6		・今までは対象となる子どもがいない。今後サービスを移行する子どもがいれば支援内容の提供に協力していきたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	4			・このような専門機関とは連携できていないと言われているので、今後は積極的に連携し助言や研修を受けていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				6		・以前は行っていたが、コロナ禍ということもあり現在は積極的に行っていないため、社会情勢を考えながら徐々に機会を設けていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している				6		・そういった会があることを知る機会がなかったので、協議会などが開催される連絡を受ければ、是非参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1			・なにか子どもに変化が見られた場合は保護者に連絡、報告をするようにしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4				・保護者に対してのペアレント・トレーニングは行っていないので、今後そのための研修等があれば検討したい

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時等にきちんと説明している	・説明が不十分と感じている保護者もいるので、より伝わりやすい説明方法を検討する
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			・保護者から相談があった場合は助言と支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	2		・現在は父母の会や保護者会の開催ははなため、保護者からの一定数以上の希望があれば検討したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・毎月お便りを発行し、事業所の活動の様子などをわかりやすく伝えるように努力している	
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			・理解しやすい言葉を使用するなどの配慮は行っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			6		・コロナのため現状では難しいが、社会状況を考えながら徐々に地域住民との交流も行っていきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	4			・今後はコロナにも対応したマニュアルを策定し、職員や保護者に周知させたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・年に2回必ず行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	4			・虐待防止の研修を受けた職員が、その他の職員にミーティングなどで研修の内容を説明するなどの形をとっているが、出来るだけ多くの職員が実際の研修に参加できるように検討したい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			6		・現在はいないが対象となる子どもが利用を始めたら計画を作成し支援を行う準備をしていきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			6		・アレルギーのある子は事前に親からの連絡を受け把握しているが、医師の指示書まで提示されたことがないため、指示書があるかの確認を徹底したい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			6		・作成していないため、すぐに作成に取り掛かり共有したい